

環境負荷低減に貢献するエネルギー・LNGを紹介します

国土産業労働政策課 43-9048

八戸市はさまざまなエネルギーの供給拠点となっており、これらのエネルギーは、企業の生産活動や市民の日常生活など、多様な場面で利用されています。今回は、八戸市で供給されているエネルギーの中から、環境負荷が少なく、二酸化炭素排出量の削減に寄与されるエネルギーとして注目されるLNG(液化天然ガス)について紹介します。

LNG(液化天然ガス)とは？

- ・石油や石炭のような化石燃料の一種です。主成分はメタン(CH₄)で、都市ガスなどの原料となります。
- ・天然ガスは、液化することで気体状態に比べて体積が600分の1になるため、輸送効率が非常に高くなります。また、燃焼時の二酸化炭素(CO₂)の排出量が化石燃料の中で最も少なく、石炭と比べて排出量は約6割です。



2050年カーボンニュートラルとLNG

国内外では現在、ガス分野における脱炭素として、「水素(H₂)と二酸化炭素(CO₂)を反応させてメタン(CH₄)を合成するメタネーション技術」や「水素を直接利用する技術」の社会実装に向けた実証や研究が進められています。

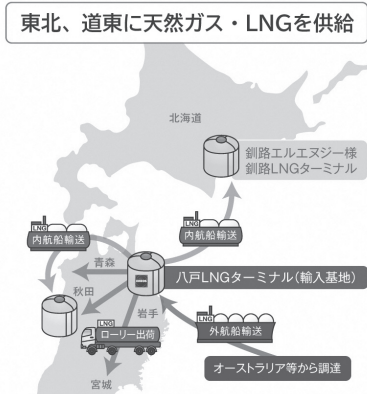
このような中でLNGは、次世代エネルギーへの移行期を支えるエネルギーの一つとして、重要な役割を果たしています。

北東北最大のLNG輸入・供給基地「八戸LNGターミナル」

八戸市には、ENEOS エルエヌジーサービス(株)が運営する「八戸LNGターミナル」があり、総貯蔵量28万kℓのタンクや国内最大級のローリー出荷設備を備えるLNG一大供給基地として、北東北や北海道東部への供給拠点となっています。

また、基地から市川水産加工団地までの八戸港周辺エリアには、総延長約22kmに及ぶガス供給のパイプラインが整備されており、火力発電所の燃料、都市ガスの原料、工場での事業活動に使用されるなど、私たちの日常生活にも密接に関わっています。

八戸LNGターミナルの存在によってLNGが身近なエネルギーとなり、工場設備等の燃料を重油等からLNGに転換し、環境負荷低減に取り組んでいる事業者が増えてきています。



CO₂排出抑制に取り組む事業者を応援しています！

市では、環境負荷が少ないエネルギーシステムに転換してCO₂の排出を抑制する事業者に対し、その経費の一部を補助しています。

はちのへとうよう 【八戸東洋株式会社】

弊社は、マルちゃんブランドでおなじみの東洋水産(株)のグループ会社として、昭和44年に設立しました。

「食を通して“笑顔”と“健康”を届ける」という方針の下、東洋水産の商品製造および自社製品の開発・販売を行い、主力製品であるフリーズドライスープを製造しています。CO₂排出削減への取り組みの一環として、冷凍冷蔵設備に自然冷媒を利用した省エネ型冷凍機を導入しているほか、平成28年には、市の補助制度等を活用して、製造ラインで使用していたA重油ボイラーをLNGボイラーへ更新するなど、環境に配慮した取り組みを進めています。



制度概要は
こちら



〒991-8501 八戸市桔梗野工業団地3-6-5

https://www.hachinohetoyo.jp